

中条けいこに通信

平成26年度 第2回 定例会における 中条けいこの一般質問から

1. 安心・安全のまちづくりのために

- ・ 洪水対策
- ・ 空き家・空き地対策

市長2期目の市政運営3つの基本政策・10大政策・6つの戦略・20のプロジェクト・130のアクションプランの中に「**浸水被害地区の排水路を重点的に整備します**」とあります。「**洪水対策**」は市民の皆様「**住んで良かった加須市に**」と言っていただけるよう重点的に取り組まなければならない問題です。市長のお考えを伺いました。**【市長】** 私としてはこの課題から逃れるつもりは一切ございません。(中略)市は一生懸命やること。必ず課題解決に取り組むけれども、時間を頂きたい。(中略)これからは洪水対策については真正面から取り組んで参りたいという風に考えております。

2. 子育て支援の充実について

- ・ ニーズ調査の結果について
- ・ 学童保育の今後について
- ・ 今後の幼稚園、保育園の在り方について



3. 農業振興のために



- ・ 農業公社の株式会社化について
- ・ 農機具ゆずり合いネットについて
- ・ 耕作放棄地仲介ネットシステムについて

「農業は辞めたけれど、まだまだ使える農機具が倉庫に眠っているよ」とか「農業を始めたいけれど、農機具を中古で安く譲ってくれる人はいないかな」といった要望の情報を収集して農機具が不要になった人と必要な人の橋渡しを行う『**農機具ゆずりあいネット**』を本市でも導入し、新規就農者への支援に役立てて頂きたいと提案しました。

農地の貸し出しや売却を希望する所有者は、知り合いに声を掛けるぐらいしか相手を探す方法はありませんでした。一方、農地を探している新規就農者らは条件に合う農地の所在や必要経費といった情報を得る手段がなかったため、農地の賃貸や売買が思うように成立しませんでした。そして、耕作放棄地の解消にめどが立たない状態が続いています。そこで、農地の貸し手と借り手、売り手と買い手をつなぐ手段として『**農地仲介システム**』を導入してはどうかと提案しました。

加須支部は5年連続で公明新聞有権者比1%を達成させていただきました！



去る7月2日(水)19時30分よりパストラルかぞ小ホールにおいて『**公明党加須支部党員会**』を開催させて頂きました。党員・支持者の皆様の公明新聞啓蒙へのご協力に感謝を申し上げさせて頂くとともに、**西田実仁**参議院議員による国政報告を聞いて頂きました。また、当日は、同時に公明新聞の記者が撮り続けた東日本大震災の写真パネル展『**人間の復興へ**』を開催しました。大橋市長や市の幹部職員の方にもご来場いただき御観覧頂くことができました。たくさんの皆様のご来場大変にありがとうございました。

ご意見・ご要望をお待ちしております。
いつでもご相談ください。

中条けいこ TEL・FAX 0480 (68) 4400